

# よもぎた 議会だより

傍聴しませんか  
次定例会  
6月7～9日開催予定

第213号(令和5年5月23日発行)



## 園庭で 4月28日

蓬田保育園の園児さん。お昼ご飯のあと、天気の良い日は園庭に出て元気いっぱい遊びます。

子どもたちの未来のために4年間取り組みます。(関連記事20ページ～当選議員の紹介)

## 目次

- 役場新庁舎建設用地の造成工事がはじまります  
(令和5年度当初予算可決)・・・P 2
- 全会計予算を審議(予算特別委員会)・・・P 4
- あなたの声を村政に(一般質問6議員)・・・P 8
- 当選議員の意気込み・・・P20

U R L <https://www.vill.yomogita.lg.jp/sonsei/gikai/>  
E-mail [yomo-gikai01@vill.yomogita.lg.jp](mailto:yomo-gikai01@vill.yomogita.lg.jp)

●発行/青森県蓬田村議会 ●編集/議会広報編集委員会 〒030-1211 青森県東津軽郡蓬田村大字蓬田字汐越1-3/TEL 0174-27-2111

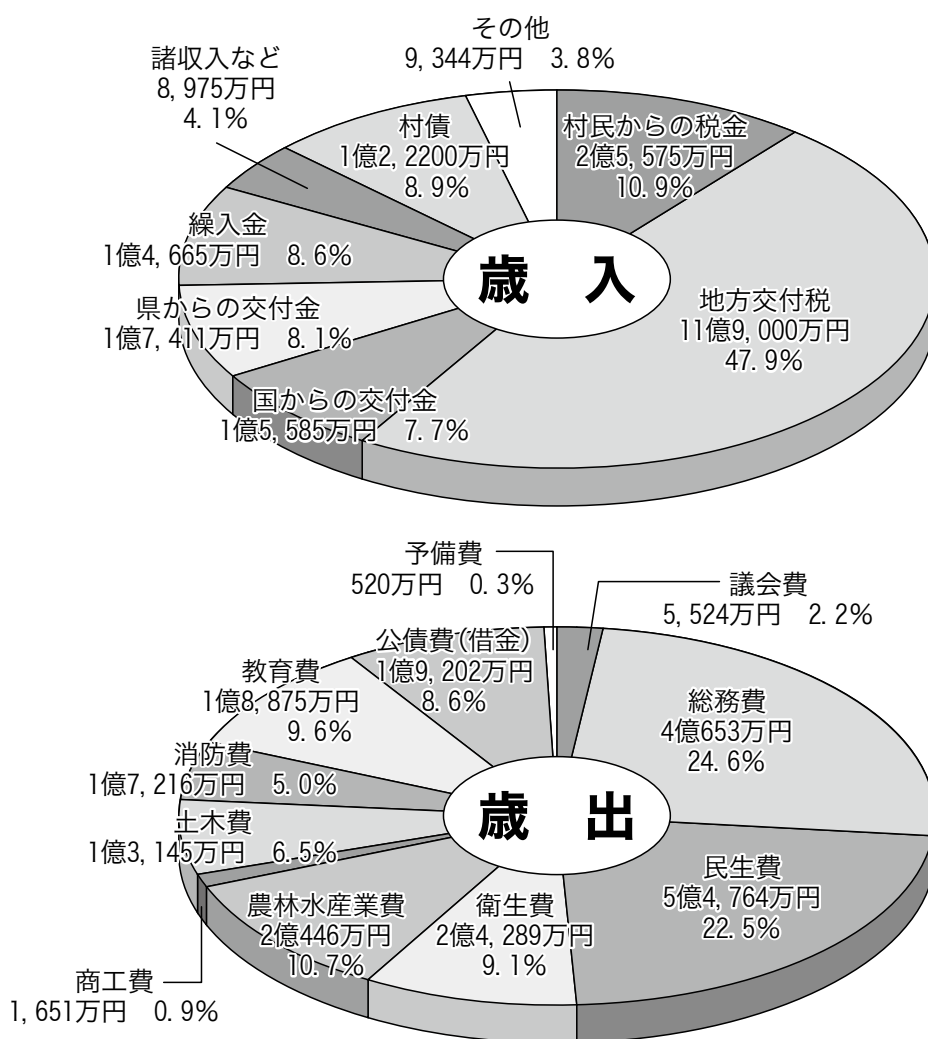


# 工事をします 24億8,243万円を可決

関連予算特別委員会審議は5ページから



令和5年第1回定例会は、3月7日から10日までの4日間の会期で開催されました。今定例会では、令和5年度一般会計、5特別会計歳入歳出予算案をはじめ、条例案、令和4年度補正予算案など村から提出された議案16件、人事案2件、議員発議案1件を審議し、全て可決しました。



## 会計別予算状況

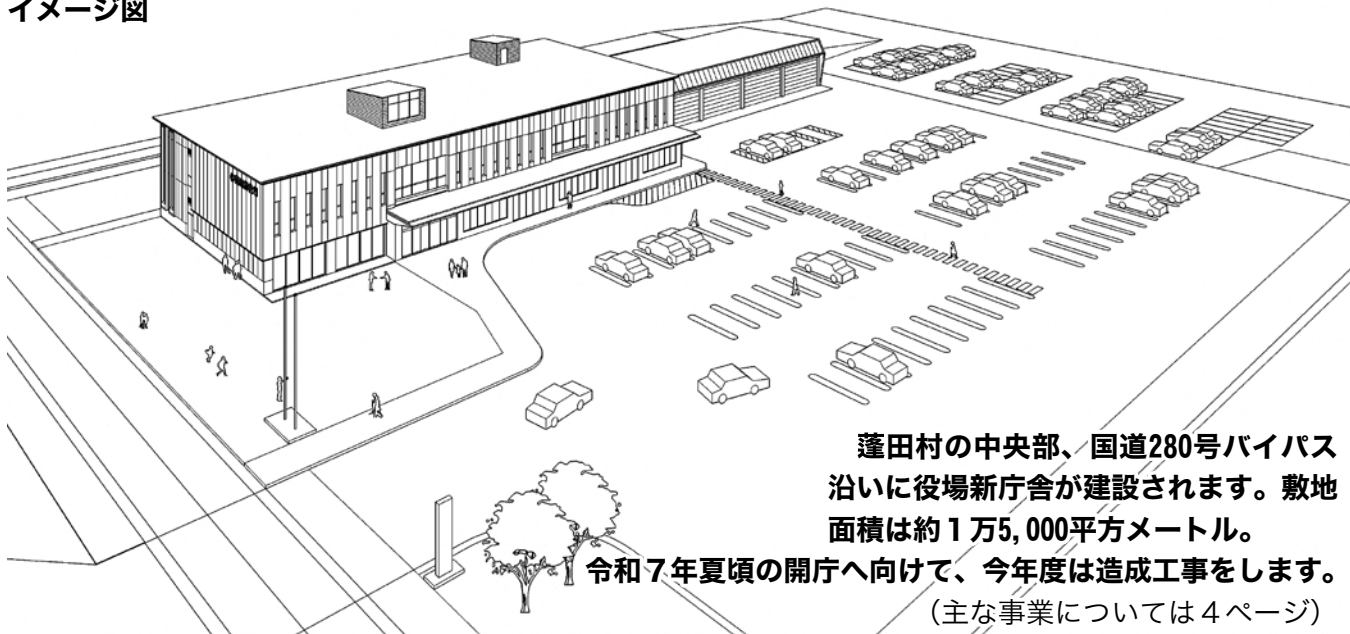
会計区分	予算額	前年度比
一般会計	24億8,243万円	11.4%
特別会計	11億8,623万円	
①学校給食センター	3,020万円	-4.8%
②国民健康保険	4億7,279万円	-2.7%
③簡易水道事業	1億486万円	-7.0%
④介護保険	4億8,999万円	5.0%
⑤後期高齢者医療	8,839万円	-0.7%

# 令和5年度一般会計予算

どう活かす

## 役場新庁舎建設用地の造成 一般会計総額

イメージ図



蓬田村の中央部、国道280号バイパス沿いに役場新庁舎が建設されます。敷地面積は約1万5,000平方メートル。

令和7年夏頃の開庁へ向けて、今年度は造成工事をします。  
(主な事業については4ページ)

### 【令和5年度施政方針】



久慈修一村長

- 1. 少子化対策の推進
  - 2. 魅力ある地域づくりの推進
  - 3. 住み良い、住んで良かった村づくり
  - 4. 産業振興方策
  - 5. 教育施設・設備の充実
- ・ 学校給食費を無償化
  - ・ 庁舎建設事業の推進
  - ・ 用地造成工事の年度内完成（庁舎や車庫等の工事は令和6年度・7年度を予定）
  - ・ 防災・減災対策の推進とコミュニティの醸成
  - ・ 令和4年8月の集中豪雨による村内の災害箇所が国の激甚災害地域に指定され補助災害及び単独災害事業で復旧工事を実施
  - ・ 瀬田地田浦地区の瀬辺地・天満宮と国道の間の斜面の災害復旧改良工事を県と協議
  - ・ 第4分団可搬式ポンプと同積載車を更新予定
  - ・ 第5分団屯所改修工事の設計業務を委託
  - ・ ハザードマップの見直し、避難訓練などを実施予定
  - ・ J A青森のライスセンターのあり方を農協と協議
  - ・ 農業経営収入保険事業の加入を推進
  - ・ 幹線道路と集落内道路等の整備
  - ・ 漁業振興関連事業
  - ・ 総合グラウンドから国道280号バイパスまでの拡幅工事の測量設計
  - ・ 蓬田漁港の東側防波堤の越水対策工事の継続実施
  - ・ 稚貝確保と「6年産の稚貝確保」対策に助成
  - ・ 他魚種の栽培漁業推進
  - ・ 蓬田漁港の東側防波堤の越水対策工事の継続実施
  - ・ 共済事業への加入支援
  - ・ 漁港改修や施設整備を行い、漁業後継者づくりを支援
  - ・ 青森県型地域共生社会の実現に向けた対応
  - ・ 健康づくりを推進できるよう予防事業の展開
  - ・ 商工業の振興と観光施設整備
  - ・ ウイズコロナ、アフターコロナを見据えたイベント開催や特産品づくりの支援
  - ・ 阿弥陀川地区基盤整備
  - ・ 長科上ため池改修事業などの土地改良事業の推進や農業用機械等導入支援
  - ・ 連携中核都市圏イベントの実施、海水浴場関連施設の整備を推進
  - ・ タマネギ、トマト、寒冷地野菜等の高収益作物への転換の推進
  - ・ 中学校の海外研修事業を実施予定

令和5年度の気になる事業をピックアップ

# こんな事業に予算が使われます

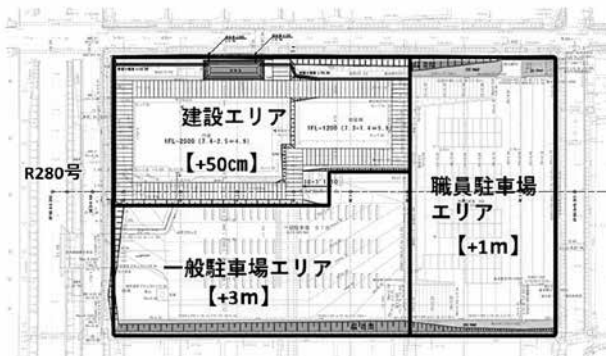
定例会

予算特別委員会

一般質問

臨時会

## 新庁舎建設用地造成工事



1億2,850  
万円

令和7年夏頃の開庁を目的に、まずは建設用地の造成工事を行う。場所によっては50cm～3mの盛土が必要。

## 学校給食費無償化



小中学校の児童生徒の給食費を無料に

## 村道路舗装補修工事



3,246  
万円

JR蓬田駅から小学校通りまでの約300mを舗装補修工事を行う

## 第4分団消防用可搬ポンプ 小型動力ポンプ積載車購入



1,735  
万円

蓬田村総合計画に基づき、各分団の屯所の改修工事や消防自動車の更新を順番に行う

## 海水浴場更衣室外部階段更新



490  
万円

更衣室に海岸側から出入りする外部階段の更新工事を行う

- 蓬田村農業用機械等導入支援事業補助金 1,000万円  
農業用機械や農業生産設備に要する費用の3分の1、補助上限額50万円を補助する事業。
- 出産子育て応援給付金給付事業費 115万円
  - ・出産応援給付金1人5万円（妊娠届を出し保健師と面談した方）
  - ・子育て応援給付金1人5万円（出生届を出した後に保健師と面談をした方）
- 粗大ごみ回収事業  
2年に1度の回収事業。1個1枚300円のシールを事前に購入。秋頃実施予定。

# 36億6,866万円の 全会計予算を審議

## 予算特別委員会



3月7日、8日の2日間、予算特別委員会を開会しました。(委員長 柿崎裕二・副委員長 吉田 勉 一般会計予算ほか、5特別会計予算を審議し、賛成多数で可決しました。)

### 主な質疑

#### 地籍図修正・筆界測量等委託料

**Q** (小鹿委員) 村内に筆界未定地がすぐ近くあると思うが、その解消につながるっていくことになるのか。

**A** (高田税務課長) 今回、令和5年度の当初予算で計上した委託料は、第一として、村の所有する土地に対して筆界未定と現在なっているものに対しての村の財産を明確にし、財産を守るという趣旨での予算となる。

委員質問の、村内に多数存在する筆界未定地の解消に対する考え方は、村が関与する土地の部分は村が、所有者が個人同士での筆界未定地は

#### 高根自治会共同通信施設改修事業

個人同士の協議において解消されるものと整理している。そういう場合は、村は介入しない考え方である。

**Q** (久慈委員) テレビの共同アンテナ、それ以外の部品なども入っているのか。また、全部でどのくらいあるのか。

**A** (小松総務課長) 高根自治会から、自分たちで積立てをしてほしいという準備はしていたが、金額的に間に合わなくなっている。ということで相談を受けた。高根自治会の地区は、テレビの難聴地域になっていて、家にアンテナを立てても地上波の

テレビを受信できない。少し高台にテレビのアンテナをつけ、そこで受信した電波を各家庭にケーブルで配線をしてテレビを見ているというシステムになっていると思う。今のアンテナをつけたのが約10年ほど前で、現在の見積りでは300万円近くなっている。ということで、難聴地域でもあるので、財源は過疎債を入れるということ、2分の1の補助をして助成金として出すことにした。アンテナ、受信装置などシステム自体を全部取替える。

#### 施設型給付費等負担金

**Q** (吉田委員) 当初予算で去年から比べて240万円くらい減っている。算定の基準はどのようになっているのか。

**A** (高谷健康福祉課長) 保育園などに入所される子どもが年々少なくなっている。その関係で施設



蓬田保育園

型給付費等負担金の認定ごとも園などに払う施設給付費の部分が少なくなり減額となる。この施設型給付費は年齢に応じて、またその認定ごとも園の定員などに応じて単価は決まっております、それで算出している。まずは子ども人数が減っていることで少なくなっている。

**Q** (吉田委員) 蓬田保育園は村の所有で経営を外部の業者に委託されていると思っておりますが、修繕についてはどういう形でやっているのか。

**A** (健康福祉課長) 蓬田保育園は民営化をしたときに、土地、建

物は無償貸与ということにしました。ただ、維持に関する費用、修繕費等は保育園の負担ということで契約を交わしている。

#### 村農業用機械等導入支援事業補助金

**Q** (久慈委員) 今年まで4年目だが、今年までこの事業を利用して1人で2回助成をもらったことはあるか。また、漏れた人はどういう理由で漏れているのか。

**A** (高田産業振興課長) 1人で2回応募した方は、半数弱ほどいた。ほぼ皆さん採択された。過去3年間で採択条件を満たしていなかったということ、1人未採択になっている。

**Q** (久慈委員) 今年4年目で過去2回助成を受けた人が3度の助成というのはあるのか。

**A** (産業振興課長) 今回の事業は、過去3年間からの延長1年で、そのままセットされるわけではなく引き継ぐので、2回受けられた方は次はない。

### 除雪隊の報酬

**Q** (久慈委員) 以前報酬は月25万円だったが、今はもっと安くなっているようだ。30日丸々出さずに日中も除排雪作業をやらなければならないこともある。もう少しそういう雇用体制の給与に対して、前向きに考えてもらえないか。

**A** (稲葉建設課長) 確かに25万円から現在



日中、排雪作業を行う日もある

は22万5000円になっている。今年度から、会計年度任用職員制度の勤務時間等に則り、今回は隊員に対して24万8000円。隊長は隊長手当1万円をプラスして25万8000円を計上している。

### 蓬田村消防団分団運営交付金

**Q** (坂本委員) 団員報酬、出動手当など個人に振り込まれることになったが、分団の運営に関して、各分団でどういう状況になっているのか把握しているか。

**A** (総務課長) 消防団員の報酬と出動手当等は昨年度、総務省からの指導により、個人に支払いをしないというので、今年1月から実際には個人の通帳に送金している。先般、消防団の会議の中では、今は分団に積立金がまだ残っている

ので、当面はその積立金の中で飲食に関してはやるので、そこまではまだ考えていないという分団と、その都度、負担金として集める方式を取るという分団の2パターンあった。役場に分団の運営費を増額してほしいという話は来ていない。



4月2日に行われた春季火防演習

### 蓬田中学校海外研修

**Q** (坂本委員) 2学年対象というのは、2、3年生のことか。

**A** (木村教育課長) 新2、3年生だ。

**Q** (坂本委員) 同じ日程で同じ場所へ2、3年生が合同で行くのか。



新型コロナ前の研修、台湾へ(令和元年)

**A** (教育課長) 3年生は夏休みを利用して行く。2年生は冬休みを利用して行く形になる。3年生は受験があつて、冬は行けないという事情があるのでそのような日程で行う。

**Q** (坂本委員) 個人の負担金はどれくらいかかるのか。個人負担金のために行きたい人が行けないこともあるのか。

**A** (教育課長) パスポートだけは自分のものなので用意してもらいたい。あとは家庭の事情になるのでよく分からない。

### 反対討論



小中学校にエアコンを国保税の負担軽減を  
坂本 豊

○令和4年度一般会計予算  
温暖化が進み、明らかに30年前より暑くなっている。学校にエアコンの設置をするよう求めてきたが、お金がかかるという理由で実現できていない。子供の数が減り続けているので、子育て支援の一環としてもエアコンの設置はぜひ必要である。  
また、国保税の負担を軽くしてほしいという住民の訴えが強くある。基金も28億円近くあつて、庁舎に8億、10億を使っても20億ほどは余る。この基金は国からの住民に対する交付税が原資になっているのだから、ため込むだけではなくて使用することが必要だ。

## 主な条例改正

全条例案が賛成多数で可決しました。主な条例改正をご紹介します。

**出産育児一時金の引き上げ**  
42万円↓50万円

蓬田村国民健康保険条例の一部改正

令和5年4月1日から

(産科医療保障制度に加入していない医療機関の場合は40万8000円↓48万8000円)

**放課後児童クラブ等での子どもの安全確保**

蓬田村放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正

安全計画の策定規定や自動車を行う場合の所在確認、業務継続計画の策定規定等の見直し。

## 主な補正予算

会計名	補正金額	予算総額
一般会計	6,094万円	26億1,133万円
特別会計		
国民健康保険	24万円	4億8,602万円

(千円単位四捨五入)

(千円単位四捨五入)  
各事務事業の確定による増減額計上

・令和5年2月分水道料金を無料

・新型コロナウイルス感染症対策、村民の経済的負担軽減のため。

・広瀬地区、西股沢地区2か所、関根股沢地区の災害復旧工事費 1247万円

ほか

令和4年8月の集中豪雨により災害が発生した箇所  
の工事を国庫補助、地方債、村単独の財源で行う。

## 人事案件

■教育委員会委員の選任に同意



坂本 勇一 さん  
(中 沢)

■固定資産評価審査委員の選任に同意



佐井 勝治 さん  
(広 瀬)

## 発議案

蓬田村議会の個人情報保護に関する条例の制定

(柿崎裕二議員発議)

議会の事務の適正かつ円滑な運営を図りつつ、個人の権利利益を保護することを目的として、村議会独自の個人情報保護条例の制定し、罰則規定を設ける。

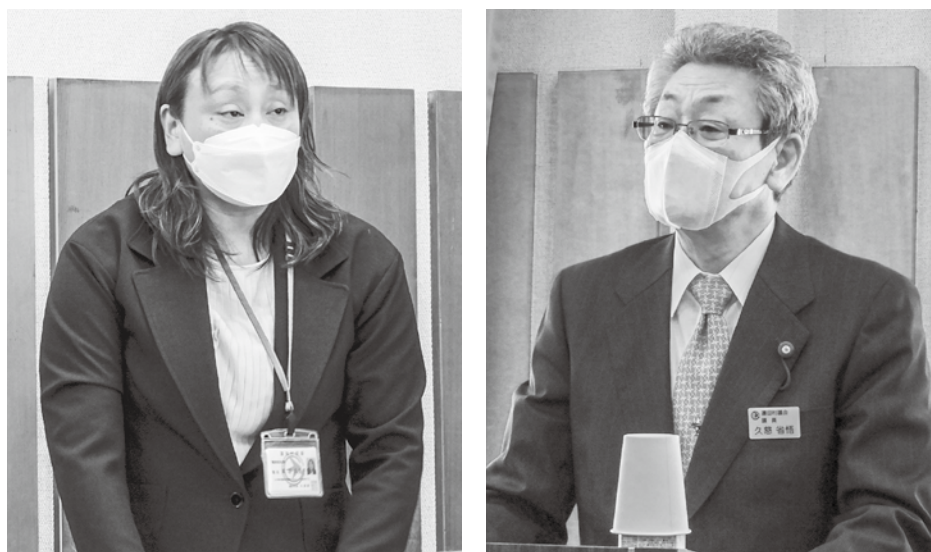
## 一目でわかる審議結果 〈3月定例会〉

	議案名	結果	賛成：反対
1	議案 蓬田村職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部改正	可決	7：0
2	議案 蓬田村特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業並びに特定子ども・子育て支援施設等の運営に関する基準を定める条例の一部改正	可決	7：0
3	議案 蓬田村家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正	可決	7：0
4	議案 蓬田村放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正	可決	7：0
5	議案 蓬田村国民健康保険条例の一部改正	可決	6：1
6	議案 蓬田村道路占用料等徴収条例の一部改正	可決	7：0
7	議案 令和4年度 蓬田村一般会計補正予算(第10号)	可決	7：0
8	議案 蓬田村国民健康保険特別会計補正予算(第5号)	可決	7：0
9	議案 蓬田村簡易水道特別会計補正予算(第4号)	可決	7：0
10	議案 蓬田村一般会計予算	可決	6：1
11	議案 令和5年度 蓬田村学校給食センター特別会計予算	可決	7：0
12	議案 蓬田村国民健康保険特別会計予算	可決	6：1
13	議案 蓬田村簡易水道特別会計予算	可決	7：0
14	議案 蓬田村介護保険特別会計予算	可決	6：1
15	議案 蓬田村後期高齢者医療特別会計予算	可決	6：1
16	議案 蓬田村教育委員会委員の任命につき同意を求めることについて	可決	6：1
17	議案 蓬田村固定資産評価審査委員会委員の選任につき同意を求めることについて	可決	6：1
18	発議案 蓬田村議会の個人情報の保護に関する条例の制定	可決	7：0

# あなたの声を村政に

一般質問は、議員の日常活動と調査・研究・住民の声や自身の考え方をもとに、村長や教育長などに方針を問うものです。

議員一人当たりの制限時間は90分で、質問の回数は1つの質問につき、3回までです。



答弁する高谷健康福祉課長（左） 質問する久慈議員

ページ	質問事項	質問議員
9	1. 50歳以上の帯状疱疹ワクチン予防接種の一部助成について	森 弘美
10～11	1. 青森農業協同組合所有ライスセンターの改築について	小鹿重一
12～13	1. 少子化の現状について 2. 子育て支援について	吉田 勉
14～15	1. 転作田の畑地化及び5年の水張りルールについて	川崎憲二
16～17	1. 学校給食の無償化について 2. 学校のエアコンの設置について 3. 村営住宅の建設について	坂本 豊
18～19	1. アスベストを使用している長科新公民館の解体について 2. 瀬辺地天満宮ののり面336-1の今後の整備について	久慈省悟

議事録は議会事務局や村のホームページで閲覧できます。



# 森 弘美の一般質問

第1回定例会（3月9日）



## 带状疱疹予防のためのワクチン 接種費用を助成できないか

（村）現時点での助成は考えていない

**Q** コロナ禍により、心身のストレスなどから免疫力が低下して带状疱疹を発症する人が全国で増えています。現在、50歳以上の带状疱疹のワクチン接種のことがテレビ等で放映されている村民の心身の負担軽減を図るため、予防の点からも任意接種で非常に高いワクチンだが、村で一部助成はできないか。

として高価なワクチンの助成をできないか。

ぜひ接種してもらいたいので助成できないか

**A** （高谷久美子健康福祉課長）今、予防接種には予防接種法に指定された市町村が実施する定期接種と予防接種法には規定されていない各個人の希望に応じて接種する任意接種があります。带状疱疹ワクチンは任意接種となっており、接種費用については自己負担となっておりますので、現時点での助成は考えていない。

**Q** 私が調べたところ、全国でも、生ワクチンで4000円、不活化ワクチンで1回1万円の助成をしている自治体がある。村の高齢化が進んで大変な時期だ。ぜひとも高齢者の心身の負担軽減のためにワクチンを接種してもらいたい。そのための助成ができないか再度答弁を求めます。

ワクチンには生ワクチンと不活化ワクチンが2種類ある。生ワクチンは1回接種で、金額にして一万三千元、四千元。不活化ワクチンは2回接種で、1回の料金が二万二、三千円もかかる。これはある意味インフルエンザ、また高齢者、65歳からの肺炎球菌ワクチンと大差ないかと思うが、村

また、現在、国の厚生科学審議会で、带状疱疹ワクチンの効果等について検討されているところであり、国の定期接種化の動向に注視し検討していきたいと考えている。

前向きに検討したい

**A** （久慈修一村長）財政負担の問題は、担当課長という形で非常に答弁していくと思う。私も調べてみたら助成して

いるところがあることは分かった。今後やはりこれをしていかないといけないのかなと私も前向きに検討していきたいと思っています。

### 要望

ぜひとも村の村民のため、高齢者のためにワクチン接種を強く希望する。



村で接種が開始された2020年5月当時の新型コロナウイルスワクチン接種の様子。接種費用は無料。



# こしかじゅういち 小鹿重一の一般質問

第1回定例会（3月9日）



稲刈りの時期、JA所有ライスセンターには行列が出来る

## JA所有のライスセンターの改築へのスケジュールは

（村）所有権が移り財源の見通しがたてば

**Q**

現在のJA青森所有のライスセンターは、1985年に新農業構造改善事業により建設され稼働したもので37年経過している。施設の老朽化による故障が頻発し、さらにはシステムが旧式なことによる対応人材の不足等の問題がある。また、稼働前の補修工事では、シーズンを通じた稼働が不安定で難しくなっている。

本来であれば、組合員のためにJAが改築等の対応をしなければならぬが、JA青森では財政上の理由からライスセンターの新築も改築もできないとのこととなった。ライスセンターがなければ、ライスセンター利用の稲作農家は営農を継続することが不可能な

ことは誰の目にも明らかである。

そこで、2度開催された青森農業協同組合所有ライスセンターの在り方検討委員会において、JA青森単独での改築等は財政難等の理由により困難であるため、村が事業主体となって改築するべきであるとの答申書が村長へ提出された。

JAライスセンターの改築事業を進めるに当たり、今後想定されるスケジュールはどのようになるのか。

**A**

（高田徹産業振興課長）JA所有のライスセンターを村が改築するためには、まず所有権を村に移さなければいけません。JAにはそれが可能なのか協議してもらおう。所有権が移り、財源の見通しが立てば工事実施となる。

できるだけ早く改築してもらえないか

**Q**

この何年かは故障によって、もみの荷受けができないトラブルが発生している。農家は早期の改築を待ち望んでいる。できるだけ早く改築工事を完成させてもらえないか。

実施に向けて今後検討していく

**A**

（産業振興課長）ライスセンターが村の稲作経営にとってなくてはならないものだということは重々承知している。実施に向けて、今後検討していく。

**どんな問題があるか**

**Q** 村が事業主体となつてJAの施設を改築する場合、様々な問題や課題があると思われるが、今の答弁のほかに何か問題などはあるか。

**最大の問題は財源の問題**

**A** (産業振興課長) 前段で申し上げた所有権の問題。また、村で唯一のライスセンターということから、稼働できない年があつてはならないというところ。最大の問題は財源の問題で、現在、村では新庁舎の建設を実施しており、その中でこのライスセンターに係る数億の財政負担が可能なかを今後検討していかねければならない。

**どんな財源が想定されるのか**

**Q** 当然、財源の問題が一番大きいと思うが、例えばどういう財源が想定されるのか。また、所有権の移転だが、JAでは建物は登記していないと思つ。改めて登記し直して移転することが必要になるのか。

**起債事業はどうか検討中**

**A** (産業振興課長) 現在のライスセンターの建物が登記されていないことは承知している。まず所有権移転するためには登記をして、それからになると思つ。財源について、補助事業等を調べたが、更新のための改築には補助事業がつかないので、起債事業はどうか検討してゐる。

**この件を村長はどのように考えているのか**

**Q** 村のライスセンターとJAのライスセンターがあり、村内の水稲作付面積の約52%をカバーしている、水稲経営のためにはなくてはならない施設だ。村長はどのように考えているのか。

**村が事業主体になつて実施せざるを得ないと思つている**

**A** (村長) 私は、農協、漁協を商工会などの公共的団体の施設は原則として事業主体が行つべきと考える。村はそれを補助ないし助成していくという立場でこれまでやってきたように思つている。利用率等が高いから、村がやるべきだということになれば、公共的団体のほとんど全ての施設を村が行つていかなければいけないという問題にもなる可能性がある

ある。

確かに新農業構造改善事業など、いろいろな事業の組合せの中で、いわゆる大型補助事業を実施するためには村が事業主体のほうが実施しやすい。別にそれに反対しているわけではないが、それが実情だと思つている。

**要望**

以前は村の単一農協、蓬田村農協という経営の観点から見ると、村が建設して農協に経営管理の委託をすることは、村の農家、すなわち村民に利益を還元するということから、お互い利害関係に問題はなかった。しかし、現在は農協が広域合併しており非常に範囲が広い。村が財政負担をした場合、村内の農家の便利性は高まるが、そこに伴う利益は、必ずしも蓬田村の農家に還元されるものではないという問題も一つある。

JAのライスセンターの改築は、行政の力を借りる以外に方策はない。農協を支援する、農協を助けるということではなくて、蓬田村の稲作農家を支援するという観点でやってもらいたいというのが私の考えだ。蓬田村の一次産業と農家を守るためにも、1年でも早くやってほしいというのが私だけでなく、農家の強い思いだ。ライスセンターが止まってしまう前に改築工事をしてもらいたい。

そんな議論をしても農家が困るだけなので、やはりこれまで利用してきた



# 吉田 勉の一般質問

第1回定例会（3月9日）

## 村の過去3年間の出生数は

（村）11人、3人、5人、今年は8人



お昼ご飯のあと園庭で元気いっぱい遊ぶ園児

園の定員数を変更したり運営費のサポートをしたりにしている

**A**（健康福祉課長）  
蓬田保育園の園児数は、令和2年度は62名、令和3年度は57名、令和4年度は47名と減少している。これに合わせて、施設の運営状況を改善するため、保育園の定員数を令和4年1月に60名、令和4年6月には50名へ変更し、保育サービスが低下しないように努めてきたところだ。

また、令和4年度は物価高騰対策支援として、電気料や食材費等の高騰分に係る部分を支援し、運営費のサポートもしている。今後にも運営に影響が生じないよう、定員の適切な見直しを行い、保育の質の向上に努めるとともに、子育て支援

高校生、専門学生、大学生に助成できないか

**Q** 少子化は村の存亡に関わる勢いで進んでいる。少子高齢化と言

いながら対策をしてこなかった国の責任によるものと思うが、村としても何か支援が必要ではないか。

高校生以上の学生支援で一番問題なのは、村外へ通って出費が増えるのに、子供の児童手当が切られるという点だ。コロナ対策事業のように、高校生や自宅から通う専門学校、大学生には月5000円、村外に住む場合には月1万円程度の助成はできないものか。

について検討していく必要があると考えている。

村単独で助成を毎年行うのは難しい

**A**（木村伸一教育課長）  
新型コロナウイルス感染症の影響を受けている高

校生の保護者や大学生を対象に、国の交付金を活用して支援金を給付したが、今後、社会は通常に戻ると思われる。質問された助成は、財源がかなり必要となり、単費で毎年行うのは難しいと考える。村では、18歳までの医療費の無料化や大学生にも奨励金、奨学金で学生生活を応援する制度もあり、支援を行っているところだ。現在、国では少子化対策として児童手当の拡大や対象年齢の引上げなど、議論されている最中である。今後、国や県の動向や他町村の状況を参考にしながら子育て支援を検討することが効果的と考えている。

郡部からの通学費を考慮できないか

**Q** 高校生には通学費がかかる。例えば、青森市内で生まれた子は自転車を通える。郡部に生まれたから通学費がかかる

と

校生の保護者や大学生を対象に、国の交付金を活用して支援金を給付したが、今後、社会は通常に戻ると思われる。質問された助成は、財源がかなり必要となり、単費で毎年行うのは難しいと考える。村では、18歳までの医療費の無料化や大学生にも奨励金、奨学金で学生生活を応援する制度もあり、支援を行っているところだ。現在、国では少子化対策として児童手当の拡大や対象年齢の引上げなど、議論されている最中である。今後、国や県の動向や他町村の状況を参考にしながら子育て支援を検討することが効果的と考えている。

**A**（健康福祉課長）  
令和元年度は11人、令和2年度3人、令和3年度5人、令和4年度は8人である。

**Q** 過去3年間の出生数と参考までに令和4年度現在までの出生数は何人か。

蓬田保育園は存続できるのか

**Q** 順次蓬田保育園に入所していくと思うが、3年後には現在の3分の1程度の入所児童になると思う。このような厳しい条件の下で蓬田保育園は存続できるのか。

入所していくと思うが、3年後には現在の3分の1程度の入所児童になると思う。このような厳しい条件の下で蓬田保育園は存続できるのか。

いう点を少し考慮してもらいたい。

それから大学生は、少子化とも関係あると思うが、大学に2人子供を入れるとなると、親も子も借金だらけになる。国の支援を当てにすることなく、村として単独の支援を考えていく必要があるのではないか。

### 国や県の動向を見て検討していく

**A** (教育課長) 今、高校へはほとんどが進学している。ただ、大学への進学は、やはり自分や家庭の選択になる。進学せず働いている方もいるし、そつすること差別が出る、平等ではないのかなと感じる。国などが子育て支援を議論している最中なので、県の助成等もはつきりした時点で、必要な支援があるか検討していく。

## 病児、病後児保育事業は必要な事業ではないか

### (村)青森市の4か所で利用できる

**Q** 病児、病後児保育事業は、村の子ども・子育て支援事業計画の中で検討はされているものの、いまだに実現できていない。共稼ぎが主流となっている中で、最も必要な事業だと考えるがどうか。

**A** (健康福祉課長) 令和2年度より、青森地域連携中枢都市圏の連携事業として病児一時保育事業を実施しており、青森市の4か所で実施している病児一時保育を利用できることとなっている。また、ゼロ歳から小学校3年生までの病気の児童を保護者が就労等の理由により自宅での保育が困難な場合に利用できることとなっている。

事業が開始して3年が経過しており、今後は対象児童がいる方へ、再度事業について周知していきたい。  
**村で実施できないか**

**Q** 連携事業として実施しているが、蓬田から一番近い保育園が青森市油川だったと思う。その受入れはたった3人だ。蓬田村で独自に実施できないか。

**A** (健康福祉課長) 病児保育などは、看護師や保健師などの医療関係の専門職の配置、専用スペースの確保、医師との連携などが必要となる。

現時点では、村単独で実施するのは難しいと考える。

### 病後児保育は実施できるのではないか

**Q** 病児保育園は難しいと思うが、病後児保育はそれほど難しいとは思わない。私が考えているのは、支援事業で国と県の助成を受けて、保育士1人分の給与に充ててはどうかということだ。病後児保育の申込みがあったときに役場から保健師を向ける方法もできると思う。蓬田保育園にも保育士1人分の給与が浮きメリットがあると思う。隔離する部屋の部分の問題さえクリアできれば、それほどお金がかかることなく事業を実施できるのではないか。

**A** (健康福祉課長) 病児保育も村の業務

### 保育園自体からも難しいと聞いている

**A** (健康福祉課長) 保健師も村の業務

で多忙を期しており、なかなか必要なときに行くのは難しい現状にある。また、蓬田保育園自体でも、今現状として、この事業をやるのは難しいと聞いている。

### どうか調整できるのではないか

**Q** 保健師は前の日に予約する形になるので、前の日に役場へ申し込みの連絡が来れば、どうか調整できるのではないか。

### 急な対応やスペースの確保など現状難しい

**A** (健康福祉課長) 前の日にたこえ連絡が来たとしても、保育士も日々日程が入っており、状況であり急遽対応できるか難しいと考える。また、専用のスペースなどの確保も必要になってくるので現状難しい。

# 川崎憲二の一般質問

第1回定例会（3月9日）



## 畑地化の要望調査では転作の面積と要望はどれくらいあったのか

（村）計1万6168アールの要望があった



村内郷沢地区の転作田

**Q** 今年に入ってから国より畑地化について要望調査が行われたと思うが、今現在、村ではどれくらいの転作の面積があり、要望はどれくらい来たのか。

**A** （産業振興課長）高収益作物の圃場で686アール。畑作物の圃場で1万5482アール。計1万6168アールの要望があった。

### 耕作放棄地の対応は

**Q** この畑地化してから5年間は国から反別2万円の交付金はあるが、その後は打ち切りとなる。交付対象となるとすれば、そばの数量払いの交付

のみになる。仮にそれだけだと採算が合わない。したがって耕作放棄地になる可能性が大きいと思うが、耕作放棄地が増えた場合、村の対策はどうするのか。

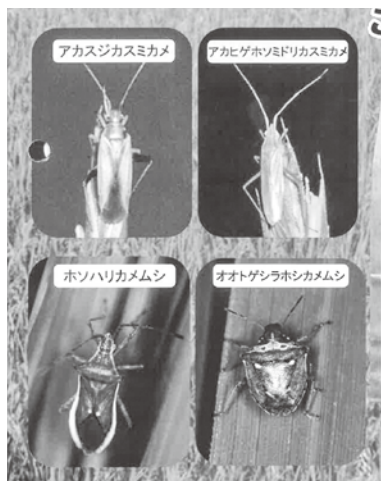
**A** （産業振興課長）今後、農地の所有者に対して圃場の利用に関する意向調査を行い、地域計画を立てていく。耕作放棄地になりそうな圃場は、中山間地域等直接支払交付金や多面的機能支払交付金を活用することが耕作

放棄地の増加抑制につながることを考えている。  
**カメムシが発生したら対策は**

**Q** 仮に、耕作放棄地が増えて、耕作放棄地が増えた分、水稲に影響を与える害虫、カメムシ等の発生で米の品質低下が懸念される。そうした場合の対策は考えているのか。

### 専門家の助言を仰ぎながら対策する

**A** （産業振興課長）耕作放棄地が増えて、それが原因で害虫によ



害虫 カメムシ

る被害が増加した場合は、害虫の種類によっても対策方法は違うと思われる。その都度、専門家の助言を仰ぎながら対策していくことになる。

**村でも大豆や麦を導入するのか**

**Q**

畑地化していく場合、農家からも相談もあったが、国では大豆や麦などの畑作物の導入を進めている。村でもそういう作物を導入する考えはあるのか。

**A**

(産業振興課長) 昔、麦、大豆を作付して、思うような結果を得られなかったと聞いている。これらの作物は湿害に対して非常に弱く、転作田に作付するのはリスクが高いと思われるので、現在のところは推奨する予定はない。

**村長はどのように考えているか**

**Q**

転作田の畑地化、5年の水張りルールということで、村長はどのように考えているのか。

**A**

**畑地化を推進していくしか方法がない**

(村長) 耕作条件が悪く水田については5年に1度復元することが難しいことが出てくるのではないかと思う。それではいつまでも現在のような活用方法をしなければいけないのか考えると、今、国が進めている畑作かんがい事業等によって畑地化を進めることが有効利用になるのではないかと。麦や大豆の作付に適地なのかどうかと考えると、簡単には、国の推進する作物にすることが難しいのではないかと思う。

また、畑作かんがい事業となると、面的な整備も

ないといけないわけで、これらの事業費や実施主体をどのようにするか検討課題がたくさんある。また、実証実験を行うため、特定の地域を定めて、それらに補助をするかどうかはまだ決めていないが、そういった形でやってみないと分からないのではないかなと思っている。できれば、来年度からでも計画的に進められないものかと思っている。

これらが多分できなければ、ますます耕作放棄地が増えてくるのではないかと思う。

取りあえずは5年の水張りルールと畑地化をするという部分については畑地化を推進していくしか方法がないと思う。かなり消極的な考え方になるが、作物を作付して、農地を守るといふ観点からそういう進め方をせざるを得ないと思っている。



阿弥陀川地区の転作田に植えられたタマネギ。秋に収穫される



# 坂本 豊の一般質問

第1回定例会（3月9日）

## 学校給食を無償化 できないか

### （村）令和5年度から実施する



給食風景

どのような経緯で無償化をすることになったのか

**Q** 今回、どのような経緯で無償化をすることになったのか。

**近隣市町村で格差があつてはいけない**

**A** （教育課長） 青森市の無償化、また東郡の町村が無償化する予定だという情報が入ってきました。近隣の市町村に子育て支援法も含めて格差が生じるのは、おかしいのではないのかということで、当初予算を要求する段階で、提案、要求をした。

**A** （教育課長） 令和5年度から学校給食の無償化を実施するため当初予算に計上している。

**Q** 青森市でも学校給食費の無償化が実現している。蓬田村でも無償化を実現できないか。

## 小中学校にエアコンを設置できないか

### （村）気温の状況を調査しながら

#### 検討を進める

**Q** 学校は夏休みがあるとはいえ、熱中症になりかねないほどの暑さがあると子供たちから聞いている。学校だからエアコンは要らないという、そういう時代ではなくなってきたと思う。現在の小学校の建設は20年前で、当時はエアコンが必要だという声は全くなかったが、近年は子供たちから暑いという声がある。そのため、小学校にもお金をかけても、エアコンの設置を実現できないのか。

。昨年の夏も特に問題なく過ごしていると聞いています。確かに20年前よりは気温は上昇しているが、エアコンの設置は今後、気温の状況調査しながら検討を進めていきたい。

**エアコン設置の費用はどれくらいか**

**A** （教育課長） 学校では各教室に扇風機2台を設置して換気をしながら暑さには対応している。



夏場、教室には2台の扇風機が配置される

**Q** この少子高齢化で大変な時期に蓬田村の小中学校でもエアコンがあるということになれば、また移住者も増えるかもしれない。そういうことも考えながら、ぜひ積極的に考えてもらいたい。また、エアコンを設置するに当たり小中学校には幾らぐらいの費用がかかるのか。

**小中学校で2億円を試算**

**A** （教育課長） 一校当たり1億円の試算をしている。小学校、中学校あわせて2億円である。



# 所得制限のない住宅建設にこだわらず 低所得者優先でもいいのではないか

## (村)村営住宅を建設する予定はない

**Q** 村営住宅の入居希望者が待機状態になつている。希望者が速やかに入居できる環境をつくらば村の人口減少対策にもなると思う。それにより、

地方交付税も増やす効果がある。村長は所得制限のない住宅建設にこだわっている答弁をしているが、所得の低い人たちを優先してもいいのではないか。

**A** (稲葉正明建設課長) 現在の入居状況は、宮本団地が30戸中5戸空いている。待機者はいない。よもつと団地は50戸中2戸空いているが、入居手続を進めている。待機者は3世帯である。それぞれ青森市内にアパートを借りており、現に住宅に困窮し

ている状況ではない。また、よもつと団地は4月末までに3世帯が退去する予定となつている。宮本団地が空いているので、村営住宅を建設する予定はない。

人口減少を食い止めるため住宅建設は必要でないか

**Q** 住宅建設には数千万円のお金がかかり、とても自分の家を建てる余裕はない。実際、蓬田村でそういう住宅をこれからさらに建設しても入居者がゼロということでは考えられない。とにかく人口の減少を食い止めるためにも、ぜひ必要ではないか。

り、とても自分の家を建てる余裕はない。実際、蓬田村でそういう住宅をこれからさらに建設しても入居者がゼロということでは考えられない。とにかく人口の減少を食い止めるためにも、ぜひ必要ではないか。

いろいろな手続きを経ると非常に時間がかかる

**A** (村長) まち・ひと・しごと創生事業や長期総合計画の中に村が単独で造る住宅を造りたいということでは計画をしていない。まさに、少子化対策ということになる、子供を持つ世帯に対して、住宅を提供していくのが必要なことではないか。ただ、場所が非常に難しい問題で、

今、役場を造るところが最適だということは、よく皆さんに言われる。しかし、いろいろの手続を経ながらやっていくということになると、非常に時間もかかる。できればここ1、2

具体的には何年後までにやりたいという考えはあるのか

**Q** 何年も前から質問しているが、いつも検討するとの回答だ。役場庁舎ができるのはもう

2、3年後で、それから5年も6年も経過してしまう。具体的に何年後までにはやりたいという考えがあれば答弁を求める。また、人口1人増えれば地方交付税30万円という話についても答弁を求める。

いつまでにやるかは簡単に言えない

**A** (村長) 15億円の

役場庁舎建設費の予定が今は20億を超える試算になつている。□シアのウクライナの侵攻によつて、まだまだ高騰するの

年、ないしは庁舎建設のめどが立った時点で着手できればと思つている。

どうかを考えると、次のこの住宅に、お金をつぎ込むことは非常に度胸がいる。また、県や国にも事業などがないか尋ねているが、財源的にはめどが立っていない。庁舎建設と同時にやるのは果たして可能かどうか考えないといけない。私も任期があと2年半しかないので、簡単にいつまでやるとは言えないのが現状だ。

地方交付税の1人増えたからいくらという単価は出ていない

**A** (総務課長) 地方

交付税が例えば人口1人当たりに幾ら増えるという単価は出ていない。1人増えたから幾ら影響あるということでは言えない。



# 久慈省悟の一般質問

第1回定例会（3月9日）

## 自治会からアスベストを含む公民館解体の相談はあったのか

（村）長科自治会で詳細な調査をしてもらいたい

**Q** アスベストを使用している長科公民館の解体について、長科自治会長から村に1度でも相談はあったのか。

**A** （総務課長）長科自治会長より直接相談は受けていない。令和3年9月定例会の一般質問で、長科地区出身の小鹿議員から、アスベストについて質問があり、答弁した。調査費用自体は100万円以上かかるようだが、1棟当たりの調査費用の上限が25万円ということで補助の対象になっている。当時、着手期限が令和5年度末までとなっていた。最近見たホームページではその着手期限が載っていないから、今もまだそれが続

いているのではないかと考

えている。実際アスベストの補助金制度をつくっているところはあまり多くなくて、青森県内で行くとたしか1か所しかない。県では今度市町村に移管するというところで、市町村で補助金制度をつくって対応してくださいという形になっている。その補助の対象の上限の補助率は、面積等の制限はたしか特段なくて、補助率はおおむね総額の3分の1以内だ。ただ、民間事業者が実施する場合は、その地方公共団体の補助額の2分の1以内で全体的に3分の1以内ということなので、補助率的には3分の1が多分上限になるかと思われる。工法や使われている部材

によって、補助に該当するかどうかが決まっている。アスベストの定義としては、機械で吹きつけているアスベストというものと、アスベストを含んだロックウールという素材を吹きつけしたものの、アスベストの含有率が0・1%を超えるものと限定されている。アスベストが入っているから全てが対象になるといつものではないので注意してもらいたい。

アスベストの補助の対象になるかならないか、まず建物の調査をすることが大前提だ。どういうアスベストが使われているのか調査しないと、工事の工法等も決まらない。調査するのはあくまでも所有者なので、今回の場合は長科自治会で

まず詳細な調査をしてもらいたい。調査の結果を見て、どういう判断をするかという形になる。

**Q** 県内でアスベスト使用の建造物の把握はしているのか

**A** アスベストを使用している建造物が県内でどれほど実在しているか把握しているのか、県では調査しようとしているのか。

また、様々な交付金があるが、交付金を年次計画を立てながら基金に回して補助金の捻出に当たるような考え方はできないものか。

**A** （総務課長）アスベストを含有している建物等について、公共施設ではアスベストの対象になっている建物はないと認識している。

**公共施設では対象の建物はない**

民間の建物は、調査自体の義務がないので直接的な調査も行っておらず、実態の把握もしていない。それから、県では、平成27年度に公共施設を何か調査したようで、データはたしか県のホームページに載っているが、対象になるような建物は無い。県でもその民間施設までは調査をしていない。

また、あくまでも基金で対応する話ではなくて、補助金制度があるのであればやはりその補助金制度を利用する形になるかと思つたので、実際対象になる建物が出てきて、補助の制度に乗るようであれば、もちろん村としての補助金の規則をつくり、補助金を請求できるような形にして、それを所有者に情報提供をして、補助金の交付申請をしてもらう形になるのが普通だと考える。

# 瀬辺地天満宮のり面整備 のその後の進捗状況は

## (村)土地の所有権は自治会から 村へ移した



応急措置された国道280号そばの崩れたのり面

を村へ全筆寄附するので、  
村の事業で工事してもらい  
たいとのことだった。令和  
5年2月22日に土地の所有  
権を村に移している。今後  
は、県と協議して急傾斜地  
崩壊防止事業等に取り組ん  
でいきたい。

**のり面全体をコンクリ  
ートで覆う工事が必要では  
ないか**

**Q** 当該の場所は急斜  
面の中に松の木が  
たくさん立っており、万が  
一にも松の木が落雷を受け  
て崩落したりすると、道路  
を飛び越えて家屋を破壊し  
てしまう。電線は切断さ  
れ、現場より北側は停電に  
なる。そうした事態が冬季  
間であれば大変な災害とな  
る。さらに、土砂の崩落を  
防ぐために、のり面全体を  
コンクリートで覆う工事が  
必要であり、東青県民局側  
と十分な協議をしながら  
完璧な工事につなげられな  
いか。

**県と協議をして  
進めていく**

**A** (建設課長) 工事  
できるのか、どの  
ような方法になるのかなど  
今後やはり県と協議をして  
いき、また何かよい補助事  
業等がないかも協議して進  
めていきたい。

**どのようなシナリオを  
考えているか**

**Q** 今後、県民局側と  
の協議に当たり、  
工事計画のシナリオをどの  
ように考えていけばスピー  
ド感が実感できるか。

**県に用地を移管して  
進めたい**

**A** (村長) 当初から  
県に用地を移管し  
て、県がこの工事を行うの  
がいいのではないかと  
いうのが一つのシナリオだ。天  
満宮の斜面を工事すること  
で一番恩恵を受けるのは国

道280号線だ。住宅の危  
険を回避することができ  
るので村としても恩恵があ  
る。280号線が遮断され  
る崩落の危険を回避するこ  
とは県、国の利益になるの  
で、私もとしてはやはり  
先に県に直接やるよりも、  
村が協議をしながら県に土  
地を移管するという方法で  
考えている。ただ、県が受  
け取らないということにな  
れば、村が急傾斜地の認定  
を受けて、補助事業、ある  
いは起債事業を使い、やっ  
ていきたい。

### 要望

やはり人命がかかってい  
ることを念頭に置きなが  
ら、スピード感を持ってす  
めてほしい。通行人の  
皆さんが安心して通れるよ  
うな状況を一日も早くつく  
れるよう尽力してもらい  
たい。

**Q** 瀬辺地天満宮のの  
り面の整備は、12  
月定例会の一般質問で、土  
地の所有権を自治会から村  
へ移動して村が対応する  
ということであった。その  
後の進捗状況はどのよう  
なのか。

(建設課長) 瀬辺  
地自治会長から自  
治会所有の瀬辺地字ののり  
面が令和4年8月の大雨に  
より崩れて危険な状態であ  
るので村で復旧してもらい  
たいという要望が、令和5  
年1月26日にあった。土地

**A** (建設課長) 瀬辺  
地自治会長から自  
治会所有の瀬辺地字ののり  
面が令和4年8月の大雨に  
より崩れて危険な状態であ  
るので村で復旧してもらい  
たいという要望が、令和5  
年1月26日にあった。土地

を村へ全筆寄附するので、  
村の事業で工事してもらい  
たいとのことだった。令和  
5年2月22日に土地の所有  
権を村に移している。今後  
は、県と協議して急傾斜地  
崩壊防止事業等に取り組ん  
でいきたい。



# 新組織体制 議長に小鹿重一議員、副議長に柿崎裕二議員

令和5年5月11日、無投票当選となった村議会議員一般選挙後、初めての議会が開催されました。議長、副議長の選挙を始め、常任委員会等の委員選任などが行われ、次のとおり決定しました。

職名	氏名	備考
議長	小鹿重一	
副議長	柿崎裕二	
総務文教常任委員会	久慈省悟	委員長
	吉田勉	副委員長
	森弘美	
	小鹿重一	
産業建設常任委員会	吉田勉	委員長
	川崎憲二	副委員長
	坂本豊	
	小鹿重一	
議会運営委員会	柿崎裕二	委員長
	久慈省悟	副委員長
	吉田勉	
	小鹿重一	
青森地域広域事務組合	川崎憲二	
	乳井厳公	
議会広報編集委員会	坂本豊	委員長
	川崎憲二	副委員長
	吉田勉	
	乳井厳公	
議会図書室運営委員会	川崎憲二	委員長
	乳井厳公	
監査委員	川崎憲二	

# ❁ 議員 8 名のこれからの意気込みと抱負 ❁

このほど当選した議員をご紹介します。(敬称略・あいうえお順)



**柿崎裕二** 62歳  
(広瀬・3期)

人口減少、少子高齢化、空き家など待ったなしの課題。世界的な天候変動における農林水産業の経営位置を目視、鋭意奮闘いたします。



**川崎憲二** 54歳  
(郷沢・2期)

村民の声を村政に届ける渡し船役をモットーに基幹産業の発展、人口減少対策として移住できる環境作り商業施設誘致に取り組みたい。



**久慈省悟** 63歳  
(瀬辺地・5期)

地域住民の代弁者であることを忘れず、知恵と勇気を兼ねながら一路邁進いたします。



**小鹿重一** 73歳  
(長科・3期)

現在の少子高齢化がこのまま進むと自治体そのものが消滅しかねない。将来の子どもたちのためにもこの課題に取り組むたい。



**坂本 豊** 71歳  
(中沢・10期)

戦争が終わって78年。戦争は軍需産業の利益のためです。大軍拡のための増税や復興税を軍拡に回すことへの批判を強めて行きます。



**森 弘美** 65歳  
(阿弥陀川・4期)

村の基幹産業である農業の振興に努力したい。①ホタテ残渣のリサイクルでの玉ねぎの産地化②蓬田地区の50アール規格基盤整備の推進③生活排水等の環境整備



**乳井厳公** 43歳  
(蓬田・1期)

物価高騰、農業・漁業の担い手不足、少子高齢化等、これらの課題解決に向け、微力ながら将来を担う子どもたちのために取り組むたい。



**吉田 勉** 63歳  
(中沢・3期)

少子高齢化、人口減少が留まらない中でより住みやすい村にするにはどのようにすればいいのか地域の皆様の声を届けていきたい。

## 審 議 結 果 <5月臨時会>

	名 称	結果	賛成：反対
1	報告 蓬田村税条例の一部を改正する条例の専決処分	承認	7：0
2	報告 蓬田村半島振興対策実施地域に係る固定資産税の特別措置に関する条例の一部を改正する条例の専決処分	承認	7：0
3	報告 青森県市町村総合事務組合を組織する地方公共団体の数の増加及び青森県市町村総合事務組合規約の変更についての専決処分	承認	7：0
4	報告 蓬田村一般会計補正予算(第11号)の専決処分	承認	7：0
5	報告 令和4年度 蓬田村学校給食センター特別会計補正予算(第3号)の専決処分	承認	7：0
6	報告 蓬田村国民健康保険特別会計補正予算(第6号)の専決処分	承認	7：0
7	報告 蓬田村簡易水道事業特別会計補正予算(第5号)の専決処分	承認	7：0
8	報告 蓬田村介護保険特別会計補正予算(第5号)の専決処分	承認	7：0
9	報告 蓬田村後期高齢者医療特別会計補正予算(第5号)の専決処分	承認	7：0
10	報告 繰越明許費繰越計算書の報告		
11	報告 継続費繰越計算書の報告		
12	議案 蓬田村国民健康保険税条例の一部改正	可決	6：1
13	議案 令和5年度蓬田村一般会計補正予算(第1号)	可決	7：0
14	議案 蓬田村監査委員の選任につき同意を求めることについて	同意	6：0

議員1名除斥

## 全国町村議会議長会表彰



■木村 修 議長  
(議長在職7年以上)

## 青森県町村議会議長会表彰



■坂本 豊 議員  
(議員在職35年以上)



■森 弘美 議員  
(議員在職11年以上)

■令和4年度蓬田村一般会計補正予算(第8号)の専決処分  
(千円単位四捨五入)  
歳入歳出それぞれ1657万円を追加し、予算の総額を歳入歳出それぞれ25億4914万円とする。  
◆報償費(ふるさと納税の返礼品) 1212万円  
◆ふるさと納税代行サービス業務委託料 445万円  
10月末より、ふるさと納税の返礼品にスーツの仕立券を追加したところ、予想以上の寄付があり、業務委託先の「さとふる」への手数料の予算額が不足したため専決処分した。

■令和4年度蓬田村一般会計補正予算(第9号)  
歳入歳出それぞれ125万円を追加し、予算の総額を歳入歳出それぞれ25億5039万円とする。  
◆出産・子育て応援給付金給付事業費 125万円  
経済的支援として  
・ 出産応援給付金 1人5万円  
対象：妊娠届出をし、保健師と面談を実施された方  
・ 子育て応援給付金 1人5万円  
対象：出生届を出し、保健師と面談を実施された方

## 令和5年 第1回臨時会

2月21日、開催されました。補正予算の専決処分1件、土地取得の件1件、補正予算1件を審議し、原案どおり承認、可決しました。

め専決処分した。  
■土地取得の件  
蓬田村役場新庁舎等建設用地として、次のとおり土地を取得する。  
・ 所在地：蓬田村大字阿弥陀川字汐干126番1、127番1、128番1、129番4  
・ 地目：田  
・ 地積：1万5382平米

## 令和5年 第2回臨時会

3月17日、開催されました。人事案1件、補正予算1件を審議し、原案どおり可決しました。

### 副村長の選任に同意



小松 生佳 さん  
(蓬田)

全員一致で選任に同意した。任期は令和5年4月1日から4年間。

ー お詫びと訂正 ー  
前号よもぎた議会だより212号2ページで誤りがありましたので、お詫びして訂正いたします。  
下段 よもぎ温泉入浴料表中  
正 大人(高校生以上) 380円  
誤 大人(高校生以上) 350円

### 青森県蓬田村議会 広報編集委員会

委員長：坂本 豊  
副委員長：川崎憲二  
委員：吉田 勉  
委員：乳井厳公  
電話 0174-27-2111  
(内線900, 901)

### 編集後記

今回の村議員選挙が無投票になりましたが、過去、無投票だったことは記憶にありません。  
選挙に対して無関心が広まり、各選挙の投票率が下がりに続いています。投票しても何も変わらないからという理由のようです。50年前の村議選挙や村長選挙は祭りというより戦争のようでした。血生臭い恐ろしさを感じていました。そんな事よりは今はましかもしれませんが、議員も新鮮さを出さないと村民の関心もだんだん無くなります。議員の仕事アピールする活動が必要です。  
(坂本 ゆたか)